

製品名: CacyBP ウサギ ポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07821**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	CACYBP
別名	CACYBP; S100A6BP; SIP; PNAS-107; Calcyclin-binding protein; CacyBP; hCacyBP; S100A6-binding protein; Siah-interacting protein
遺伝子 ID	27101.0
SwissProt ID	Q9HB71
免疫原	抗血清はヒト CACYBP の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 171-220

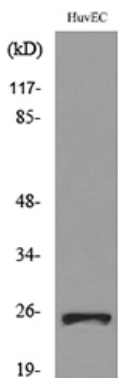
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質はカルサイクリン結合タンパク質です。カルシウム依存性ユビキチン化とそれに続く標的タンパク質のプロテオソーム分解に関与していると考えられます。ユビキチン E3 複合体における分子橋渡しとして機能し、ユビキチンを介した β -カテニン (CTNNB1) の分解に関与していると考えられます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの選択的スプライシング転写バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: カルシウム依存性ユビキチン化とそれに続く標的タンパク質のプロテオソーム分解に関与していると考えられます。ユビキチン E3 複合体における分子橋渡しとして機能し、ユビキチンを介した β -カテニン (CTNNB1) の分解に関与しています。PTM: セリン残基がリン酸化されています。RA 誘導または高カルシウム濃度でリン酸化される。類似性: CS ドメインを 1 つ含む。類似性: SGS ドメインを 1 つ含む。細胞内局在: 低カルシウム濃度では細胞質内。神経芽細胞腫細胞では、レチノイン酸 (RA) 誘導とカルシウム濃度上昇後、核と細胞質の両方に局在する。核分画はリン酸化される可能性がある。サブユニット: 生理的カルシウム濃度において、S100 ファミリーのタンパク質 S100A1、S100A6、S100B、S100P、および S100A12 と相互作用する (類似性による)。少なくとも UBE2D1、SIAH1、CACYPB/SIP、SKP1、APC、および TBL1X から構成される大規模な E3 複合体の構成要素である。SIAH1、SIAH2、および SKP1 と直接相互作用する。

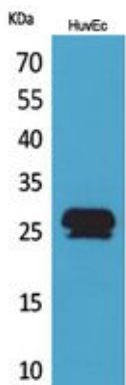
研究分野

WNT;WNT-T 細胞

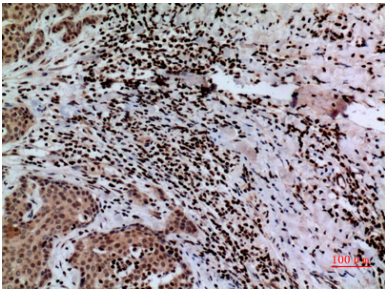
画像データ



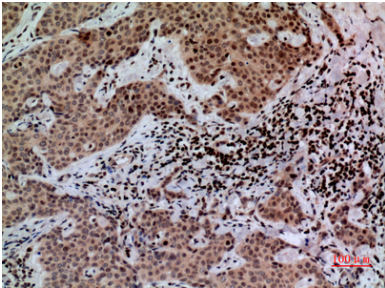
CACYBP 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解液のウェスタン ブロット分析。



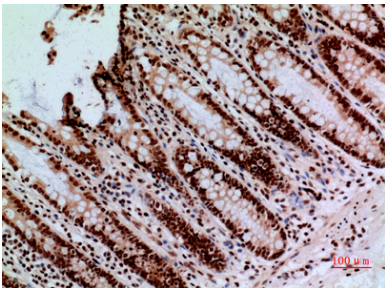
CacyBP ポリクローナル抗体を用いた HuvEc 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



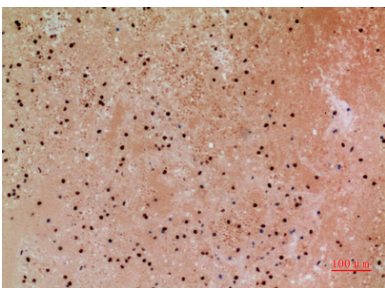
パラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



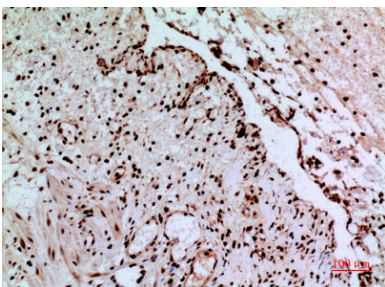
パラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



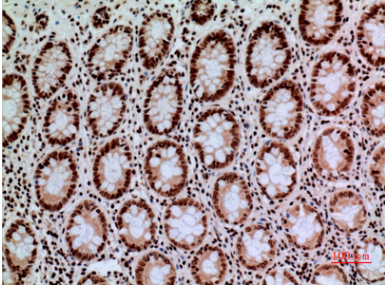
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された